

大分県が目指す  
地域とともにある学校

実現に向けて①  
学校運営協議会

実現に向けて②  
地域学校協働活動

取組事例

各立場がすべきこと  
大切な視点

## I 学校と地域が「協働」しよう



地域住民

- ○○小学校では、我が家の田んぼを利用して田植えの授業を行っています。
- 学校から毎年「お願いします」と頼まれるけど…



- この活動は何のためにやっているんかの～？
- どんなことに役立っているんかの～？

- 私たちは、毎朝「あいさつ運動」と「交通指導」を行っています。



地域住民

- 「学力向上」「安全・安心な学校づくり」など、学校運営協議会を導入することでの効果は多様ですが、大切なことは、学校運営協議会や作業部会に関わる人たちが「何のためにこの活動をしているのか」を理解し共有することです。
- 「何のために」を共有することで、「お願い」と「頼まれ事への支援」といった貸し借りの関係ではなく、学校・家庭・地域の「協働」につながり、互いに**有用感（成果）**を実感することができます。
- 「学校教育目標（育成を目指す子ども像）」の達成に向けて、単なる学校支援に留まらず、「**目標を共有した取組**」を目指していきましょう。



CSコンサル

## II 地域学校協働活動を「教育課程」に反映しよう

- 本校の教育目標は「夢を持ち、自ら学び続ける生徒の育成」です。
- この目標の達成に向けて、本校では地域の方による職業講話などを教育課程に位置付け、「**社会に開かれた教育課程**」の実現を目指しています。



校長

教科	月	4月	5月	6月	7月	8-9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学校の教育目標		教育目標「夢を持ち、自ら学び続ける生徒の育成」 ドリームスクール「地域の先生」による授業 地域とともに目標を共有し、生徒に夢を持たせる取組											
毎た日→D →S進 →成学 →学 →校 →年 →向 →教 →全 →け →存		テーマ「地域の先生」による授業 SOCIETY5の社会力 GT「ハイパーシティ」 テーマ研究より	テーマ「夢を共有」 GT「ドリームマップ」 GT「夢を共有」										
教科		国語「夢を共有」 GT「ドリームマップ」 GT「夢を共有」	算数「夢を共有」 GT「ドリームマップ」 GT「夢を共有」	理科「夢を共有」 GT「ドリームマップ」 GT「夢を共有」	社会「夢を共有」 GT「ドリームマップ」 GT「夢を共有」	総合「夢を共有」 GT「ドリームマップ」 GT「夢を共有」	英語「夢を共有」 GT「ドリームマップ」 GT「夢を共有」	音楽「夢を共有」 GT「ドリームマップ」 GT「夢を共有」	体育「夢を共有」 GT「ドリームマップ」 GT「夢を共有」	美術「夢を共有」 GT「ドリームマップ」 GT「夢を共有」	道徳「夢を共有」 GT「ドリームマップ」 GT「夢を共有」	外国語「夢を共有」 GT「ドリームマップ」 GT「夢を共有」	特別活動「夢を共有」 GT「ドリームマップ」 GT「夢を共有」

- 3学期に学校と地域が**熟議**することが大事ですね。



CSコンサル

## III 活動の成果を地域に「フィードバック」しよう



地域学校協働活動推進員

- 地域への情報提供は、私の役割です。



- 地域学校協働活動の終了後は、その成果（評価）を、地域に**フィードバック**することが重要です。
- そうすることで、地域の方は**有用感**を実感でき、新たなる「協働」につながっていきます。
- 地域の方が「**やってよかった**」と思えることが大事ですね。



CSコンサル